

岩手日報

2010年(平成22年)6月23日(水曜日)



業務用車両に次亜塩素酸水を散布し、消毒するいわい東農協職員。奥に設置されているのが、生成装置とタンク

生成装置は、一関市大東町の同農協総合営業センターに設置した。生成水は藤沢農協センターにも常備され、東磐井地方の養殖、肥育、酪農農家約1100戸を対象に希望者に無償で供給する。

口蹄疫対策に次亜塩素酸水

藤沢のインテグラン 農協に生成装置

誘致企業が無償提供 強力、安全「町へ恩返し」

藤沢町に岩手工場がある誘致企業で、電源・装置製造のインテグラン(本社東京都品川区、関山浩一代表取締役社長)は、宮城県で感染が拡大している口蹄疫対策として、ウイルス滅菌に効果があるとされる次亜塩素酸水の無償提供を始めた。いわい東農協(本店一関市千厩町、鈴木昭男組合長)に生成装置を貸与し、生成水を希望する管内の畜産農家に供給、畜舎内の消毒などに活用してもらおう。強力な除菌力と安全性が特徴で、防疫対策の切り札として期待は高まる。

毒で作物の根付きが良くなるなど、農業分野でも活用に期待が高まっている。

同社の中川隆一取締役環境事業部長は「お世話になっている藤沢町にできる限り協力したい。動物実験などで安全性も実証済み。一つのモデルケースにしたい」と語る。

世話になっている藤沢町にできる限り協力したい。動物実験などで安全性も実証済み。一つのモデルケースにしたい」と語る。

「口蹄疫は決して対岸の火事ではない。企業の地域貢献の意向もあり、工番運搬の一つとして防疫体制を整えた」と期待。同農協の藤沢一畜産販売課長は「農家が防疫意識を高め、自主的な予防を実施する手助けになれば」と語る。

問い合わせ先、藤沢町産業振興課(019-313)へ。

〜〜〜
次亜塩素酸水
ウムと希塩酸、水を混ぜ生成する。ウイルス殺菌に最も効果が高いpH6.5前後で安定させ、弱酸性で無味無臭。短時間でウイルスや菌を死滅させ、消臭効果も高く、人体にも影響を及ぼさない。食品添加物としても認められており、野菜などの洗浄に用いられるケイ素もある。紫外線を受けるため、成分が変質するため、直射日光を避けて保存する。